

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立泉中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

住所 〒921-8036
金沢市弥生1丁目26番1号

E-mail：izumi-j@kanazawa-city.ed.jp

Website：http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-j/

児童生徒数：男子 202名 女子 199名 合計 401名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、総合的な学習の時間（以下IT）を中心に学習を進めている。ITは3年間で6期に分け、各学習テーマにしたがって、継続的・計画的に実施している。中でも体験学習や探究活動を積極的に取り入れ、自然環境や社会との「関わり」「つながり」を重視し、持続発展可能な社会の担い手の育成を目指している。

ア I期 自然とともに

現代の自然環境について「水」「生き物」「エネルギー」「森林」「食」の5つのテーマ別に分かれ、自分の課題を設定した。この課題解決に向け、関連施設を訪問し、見学、職員へのインタビューを行った。生徒は環境に関する問題解決に向けた実際的な取組やその方向性を深く理解することができた。学習の成果を新聞形式でまとめ、掲示発表を行った。

イ II期 金沢を知ろう

1年生は、ふるさと学習のスタートとして、「伝統芸能」について各自が調べ、クラス発表を行った。また、伝統芸能体験として「加賀万歳」を体験・見学し、地域で育まれてきた芸能についての理解を深めることができた。

2年生は、伝統工芸体験を取り入れた市内班別自主研修を行った。生徒自らテーマに沿った課題解決のための見学地を決定し、班ごとに協力して計画を立て、インタビューや見学を実施した。この研修の成果をスライドにまとめ、発表会を行った。これにより金沢の文化的景観や伝統工芸などを知ることができ、金沢の魅力の再発見につながった。

ウ III期 人とともに

キャリア体験の事前学習として社会で活躍する職業人を招いての講演会を行い、地域密着型や世界で幅広く活躍する職業人の考えに触れることで、職業観や勤労観を高めた。キャリア体験当日はとまどいながらも、地域で働く人々とふれあい、地域社会の営みについて知ることができた。また、自分の進路を考える上でよい機会となった。学習成果はレポートにまとめ、掲示し全体で共有した。

エ IV期 日本を知ろう

2年生はII期で学んだ金沢の文化・伝統工芸・まちなみなどと比較しながら、視野を広げ、日本の伝統を色濃く残す京都や日本の商都大阪について学習した。そして、修学旅行での見学候補地や企業についての調査を行い、それをもとに京都班別自主研修のモデルプランを作成した。

3年生は修学旅行において、前年度作成したモデルプランを活かした京都班別研修を皮切りに、京都、大阪、奈良を回った。学習内容は旅行記という形でまとめた。2泊3日の旅行を通して、現代に残る日本独自の文化、伝統に直接ふれ、金沢との比較を多角的に行って、考察を深めることができた。

オ V期 世界を知ろう

国際理解講座としてアメリカ・イギリス・フランス・ベルギー・中国・韓国の6カ国の方々を講師として招き、IV期の学習テーマであった「食文化」「まちなみ・歴史」「伝統工芸」「伝統芸能」について各国の事情を学んだ。日本では受け入れられている伝統の継承について、伝統に固執しない国があることに驚きを持つと共に、世界の多様性についての興味関心を深めることができた。

カ VI期 社会とともに

3年間「ともに生きる」という視点で学んできたITの学習の集大成として、交流拠点都市を目指す金沢について考えた。金沢がさらなる魅力を獲得するためには何が必要なのか、市政でも取り上げられている「まちづくり」「ひとづくり」「ものづくり」「環境づくり」「絆づくり」「魅力づくり」「くらしづくり」をテーマに各グループで検討し、金沢市への提言という形で発表した。発表は授業参観の日に学級ごとに実施し、多数の保護者の方にも参観していただいた。

キ 生徒会活動

本校の生徒会は、「つながりプロジェクト」として、つながりを大切にした活動を継続的に行っている。

校区内の3校（泉中学校、泉小学校、中村町小学校）の児童・生徒会の委員や役員が一堂に会する「iPSサミット(izumi Pupil Student summit)」を通して共同での活動を呼びかけ、「ボトルキャップの回収」「ベルマーク運動」「あいさつ運動」等を行ってきた。また、小学校での「泉中読みきかせ隊」による絵本の読み聞かせ活動や英語の絵本の読み聞かせを通して、小学校との交流を進めている。世界へのつながりでは、「Smile Africa Project」「届けよう 服のチカラ」プロジェクトなどを行い、自分達にできることから行動することを目指している。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）